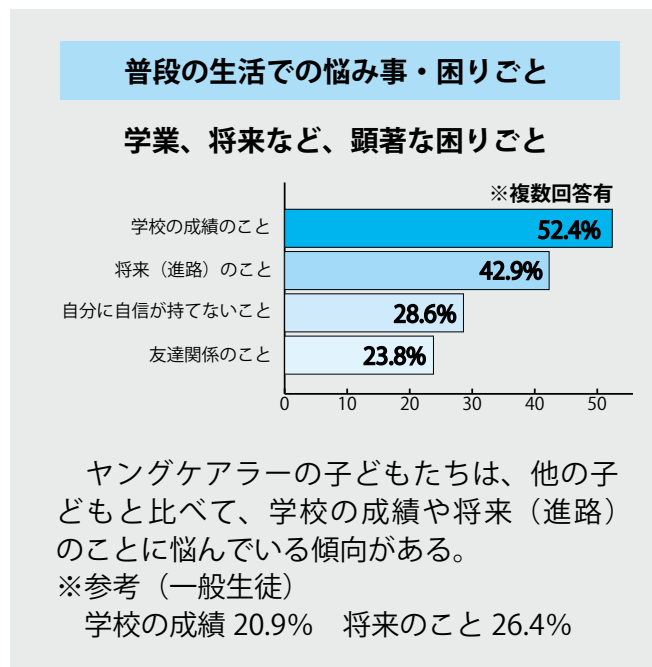
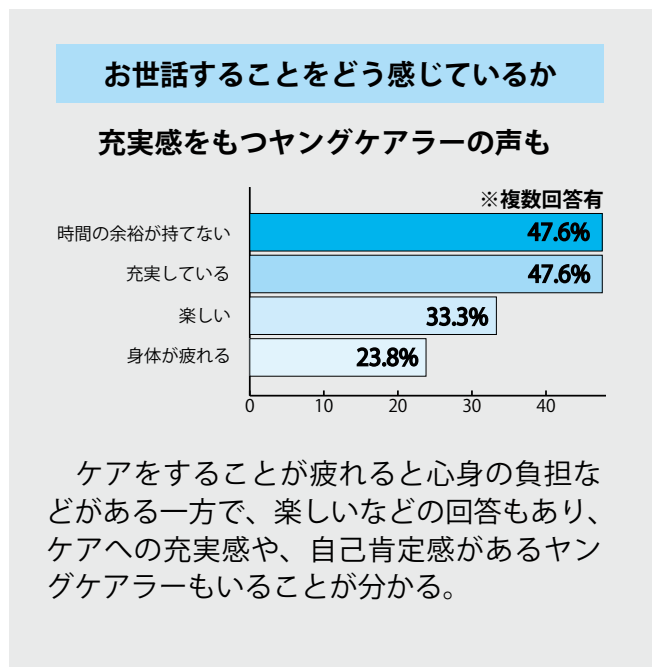
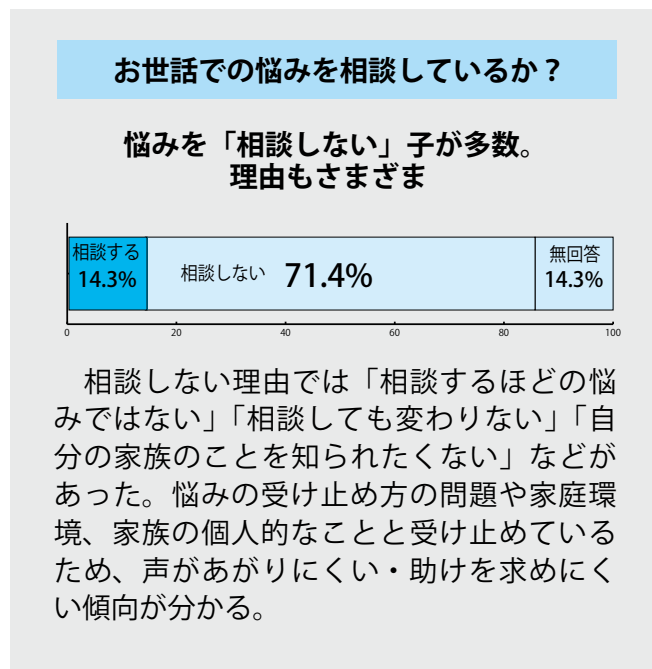
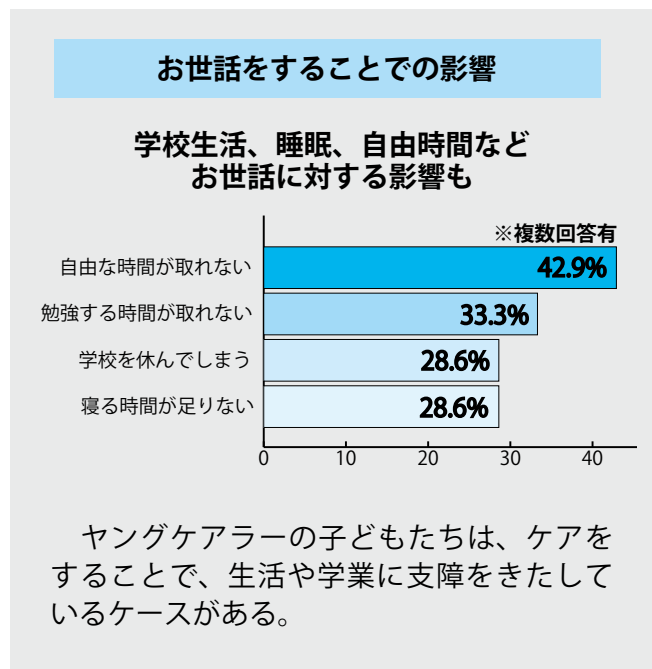




幼いきょうだいのお世話をしている

家計を支えるために働いている

父母に代わって家事を行う

お世話の悩み相談できない

ご存知ですか？ ヤングケアラー と呼ばれる存在を

「ヤングケアラー」は、本来大人が担うような家事や家族の介護などを日常的に行っている18歳未満の子どものことです。祖父母の介護や幼いきょうだいの世話を通して、必要以上の身体的・精神的な負担から、体調を崩してしまう、場合によっては、子どもの将来を奪ってしまうことなどが懸念されています。

町では、町内のヤングケアラーの実態を把握するために、小学校5・6年生と中学校、栗山高校の全学年に対して、令和4年に実態調査を行いました。その結果、ヤングケアラーと思われる子どもの総数が21人になることがわかり、子どもたちが抱えている悩みや困りごとの傾向が明らかになりました。

調査の結果はホームページで公開中です

●ヤングケアラー対象者

21人

※全体の4.8%

【概要】（回収率86・6%）
配票 528件
回収 459件

【調査方法】（全数調査）
※ヤングケアラーの動画視聴後、アンケートに記入

**21人のヤングケアラー
その実態とは**

町では、町内のヤングケアラーの実態を把握するために、小学校5・6年生と中学校、栗山高校の全学年に対して、令和4年に実態調査を行いました。その結果、ヤングケアラーと思われる子どもの総数が21人になることがわかり、子どもたちが抱えている悩みや困りごとの傾向が明らかになりました。

【担当課・問い合わせ】
町福祉課地域包括支援センター
☎ 2255

栗山町教育委員会
高橋 信 教育相談員

子どもの「夢」を守るため

ヤングケアラーについては大きな問題ですが、決してネガティブなものではありません。家族のお世話をしている子はみんな良い子ばかりで、とても頑張り屋さんです。

ただ、世話の大変さと家庭環境が理由で志望校や夢への道を諦めてしまう、そのようなことはあってはならないと思います。無限の可能性を持つ子どもたちの夢を守るためには、周りの気づきや支援が求められます。

ヤングケアラーは家庭の話のため、根本的な解決は難しいです。しかし、そのつらさや悩みを共有し、手を差し伸べるこそが、大人にできる役割だと思います。

今後も学校や地域と連携しながら、子どもが出すサインに気付く、相手に寄り添い、支えていきたいと思っています。

**きょうだいの世話も
ヤングケアラーです**

家族の介護や看病をはじめ、きょうだいの世話をを行う子もヤングケアラーに含まれます。父母に代わり、幼いきょうだいの世話をしたり、アルバイトで家計を助けているなども挙げられ、アンケートではヤングケアラーが介護や世話をしている対象は「きょうだい」が、最も多い結果（左グラフ）となりました。

